



▲地方を視察する菅官房長官

**市長** 菅官房長官が考えるこれからの地方に求められるものとは何でしょうか。

## 地方に求められるもの

**市長** 何事にも努力と挑戦を続けてこられた菅官房長官の人柄を現したような言葉ですね。

意志さえあれば必ず道が開けるとの信条で、乗り越える努力をしてきました。

**市長** 菅官房長官は何をきつかけに政治の道を志されたのですか。

## 挑戦する心

**市長** 地方を第一に考えていただいていることは、地方行政を担う身として大変心強く思います。

で活用していく頑張る地方を政府として全力で応援します。



生まれ、いずれは跡継ぎになるものと思っていました。高校卒業後、一度東京で自分の力を試したいと思い、上京して、町工場に就職しました。しかし現実には厳しく、淡い期待を抱いて上京したものの、何か得られるはずもなく「壁」に突き当たりました。

**市長** その「壁」に突き当たって、現状を変えるような挑戦や試みがあったのですか。

**菅** 今後の人生を考えて2年遅れで法政大学に入学しました。大学に入ってから、自分には何が向いているのか、“どんな仕事に合っているのか”を模索し続けていました。そうした中で、世の中を動かしているのは政治かもしれない、政治に関わる仕事をしてみたいと考えようになりました。

**市長** 将来の展望をこの時期に明確に持てることはすごいことだと思います。その後どのような形で政治に関わられたのですか。

**菅** 地方の活力、頑張る力の源は「市民」にあると思います。やはり、市民の皆さんと一緒にまちのことを考えるという姿勢は、令和の時代には欠かせない視点です。

**市長** 長浜市民には協働の精神が根付いています。市民活動の拠点となるまちづくりセンターを市域全体に整備を行い、市民活動がより活発になるよう支援を行っています。また、人・文化・産業を創造する知の拠点の「さざなみタウン」に集まる、多様な人々の交流から、長浜の新たなまちづくりを進めたいと考えています。

**菅** 大変素晴らしいと思います。市民の皆さんの交流から生まれる力は何よりの財産だと思います。これからも大切に育み、市民の皆さんに寄り添う市政運営されることを期待しています。

**市長** ありがとうございます。長浜は歴史の重みと文化の薫りは日本一です。400年以上町衆に支

**菅** 大学の学生課に相談し、ご縁があり、横浜の小比木彦三郎衆議院議員の事務所働くことになりました。37歳になった頃、いろいろな偶然が重なり、もしかしたら、自分は政治家になる運命かもしれない、と思立ち、周囲の反対を押し切って横浜市議会議員に出馬し、38歳で当選することができました。

**市長** 大きな決断をされたのですね。やはり、国を良くしていきたいとの思いが、その後の国政への挑戦につながったのですか。

**菅** そうです。横浜市議員を2期務めた後、この国をさらによくしていくためには、国レベルでの意思決定・政策運営に関与していく必要があると考え、国政への進出を決意しました。

**市長** 現在に至るまで確たる志を持ち、また、決断されてこられたのですね。私は、誠を尽くせば、願いは天に

## 強い信念

えられてきた豪華絢爛な曳山祭や、450を超える多くの文化財があり、地域ごとの自然景観も魅力的です。ぜひ一度ご覧いただきたいです。

**菅** ぜひお伺いしたいと思います。その時は、活力ある市民の皆さんとの交流や町衆文化に触れてみたいですね。

## 長浜市民へむけて

**市長** 長浜市民へ向けたメッセージをいただければと思います。

**菅** 歴史文化を大切にし、さらに発展させ、よりよいまちづくりに、行政はもとより長浜市民の皆さんの理解と協力、そして協働の精神が何よりの力となります。長浜にはその力があると思います。令和の時代に、長浜市がさらなる躍進を遂げるよう、私も大いに期待しておりますし、政府としても最大



通じるという意味の『至誠通天』を志として、一つひとつの課題に誠実に取り組み努力することを目標にしています。菅官房長官が信念とされている言葉はありますか。

**菅** とても良い言葉ですね。私は、このような経緯を経て現在に至っていますが、様々な不条理や困難に直面してきました。しかし、その度『意志あれば、道あり』どんなに困難な道であってもそれを成し遂げる



▲総理官邸での定例記者会見

限の支援をしたいと考えています。

**市長** ありがとうございます。新元号「令和」には、「梅の花が咲き誇るような美しい時代に」との意味もあります。市民一人ひとりが美しい花を咲かせ、輝ける長浜市となるよう、全力で市政にまい進していきます。